

令和3年12月1日

嬉野市議会
議長 田中政司 様

文教福祉常任委員会
委員長 森田明彦

文教福祉常任委員会報告書

令和3年9月定例会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則第107条の規定により報告する。

付託事件名 児童福祉について

【調査理由】

子育て支援については、重要な施策の一つとして全国的に取り組まれており、嬉野市でも色々な方々の声を基に「こどもセンターリュッケ」が2019年9月にオープンした。開設から約2年が経過したところであるが、この事業のさらなる充実を図るため、白石町の子育て支援の取り組みについて調査を行った。

【調査概要】

白石町地域子育て支援センター「ゆめてらす」において、白石町が実施している地域子育て支援拠点事業やその他子育て支援に関する取り組みと効果についての調査研究を行った。

【調査日時】 令和3年10月18日（月）10時～12時

【調査場所】 白石町地域子育て支援センター「ゆめてらす」（杵島郡白石町坂田 253-1）

【対応者】 白石町 保健福祉課 こども未来係 係長 山口裕之 氏
 " " " 係 森ゆかり 氏
 " " 健康づくり係 係長 川崎真由美 氏
白石町社会福祉協議会 事務局長 門田和昭 氏
白石町地域子育て支援センター センター長 淵上千佳子 氏

【調査内容】

I 地域子育て支援拠点事業【ひろば型】

子育ての不安感の緩和を図り、子どもの健やかな育ちを促進するため、遊びと学びの場および保護者・支援者の交流の場を提供している。

対象者：就学前の児童および保護者、支援者

実施施設：白石町地域子育て支援センター「ゆめてらす」

実施日：月曜日から金曜日までの週5日（祝日、年末年始は休み）
及び毎月第2土曜

費用負担：利用料は無料

事業内容：

- ・ハピネスタイム（絵本の読み聞かせや手遊び・親子ダンスなど）
- ・カレンダー作成（子どもの手形や足型をとって、その月のカレンダーを作成）
- ・読み聞かせ・子育て相談等（絵本や紙芝居の読み聞かせの他、町保健師による子育ての悩み相談など）

II 一時預かり事業

一時的に家庭での保育が困難となった子どもを預かっている。

対象者：生後4ヶ月から小学校就学前までの児童

実施施設：白石町地域子育て支援センター「ゆめてらす」

実施日：月曜日から金曜日までの週5日（祝日、年末年始は休み）
及び毎月第2土曜

費用負担：利用料1時間当たり、町内児童300円、町外児童600円

III ファミリー・サポート・センター事業（子育て相互支援センター）

「子どもを少しの間見ていて欲しい」利用会員と「それくらいならできますよ」という協力会員とを結びつける地域子育て支援システムである。

利用料に多少の違いはあるが、事業内容等は嬉野市とほぼ同じである。

委員会の意見

白石町では子育て支援に関して、旧庁舎を活用した地域子育て支援センター「ゆめてらす」の1箇所を拠点として事業を行っておられる。このセンターは、白石町役場の新庁舎建設により使用されなくなった旧有明町役場の庁舎の有効活用として、平成22年10月に開設されたとのことであった。一番に感じたのは、旧庁舎活用のセンターは建物自体が広く、親子で利用されている方々が伸び伸びと過ごしておられたことである。また、社会福祉協議会をはじめ、関係機関も同じ建物に入っているため、連携がたいへんスムーズに出来ているように感じた。さらに、子どもたちが利用している部屋の隣室で「デイサービス」が行われており、子どもたちとおじいちゃん・おばあちゃんとの触れ合いも双方にとって良い環境であると思えた。

嬉野市も子育て支援の充実には、ゆとりのある施設スペースを確保することが非常に重要であり、確保に向け努力いただきたい。

「ゆめひろば」の利用状況としては、旧3町のそれぞれの地区から大きな偏りなく利用されており、また、町外からの利用も多くあっている。地理的に立ち寄りやすい場所であることと、利用したいと思わせる環境が整っていることが要因と思われる。町外の方も多く利用されることにより交流が増えることは、大きなメリットであるとの考え方は参考とされたい。

当市でも「うれしの子育て応援リーフレット」といった楽しく分かりやすい資料の作成など、創意工夫をもって子育て支援に取り組んでおられる。他市町のよい点を参考とし、取り入れるべきを取り入れて、さらに満足度の上がるような事業展開につなげていただきたい。